



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第13号

2021年8月5日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

緒川小学校 夏休み学校施設開放

夏休みが始まりました。今年の夏休みも、多くのSPさんが東浦町内の各学校で活動してくれます。8月2日～6日、緒川小学校では学校施設が開放され、毎日150人ほどの子どもたちが学校に集まっています。5日間で、8人のSPさんがこの緒川小学校で活動をしてくれる予定です。

8月2日の学校施設開放初日。2人のSPさんが活動してくれました。竹内SPと団野SPです。朝8時、私が学校に到着した頃には、2人とも受付で児童の対応をしていました。暑い中、夏休みに、早起きをして小学校に来て、そして2人とも優しい笑顔で「おはようございます！」と元気な挨拶をしてくれていました。さっそく素敵な光景を見ることができました。最高の夏休みSP活動のスタートだなあと嬉しくなりました。

8時半から児童の活動が始まりました。夏休みの宿題をする児童、習字やポスターに取り組む児童、読書に励む児童、塾などの宿題に取り組む児童と、子どもたちがそれぞれで考えて取り組んでいるので、SPさんはそれをよく見て動かなければなりません。2人ともこういった活動に参加するのは初めてだったようですが、子どもたちにスッと寄っていき、声をかけていました。「すごいね、綺麗に描いているね」「大丈夫そう？」「これってどうだったかな？」など、子どもたちをよく見て声をかけたり、見守ったりしていました。

団野SPは、背の高いSPさんです。体格も良く、一見するとちょっと怖そうな印象を受けがちですが、全然違いました。すごいです。横にかがんで、声をかけていました。意識していたのかは分かりませんが、ビックリするくらいスムーズに子どもたちに声をかけて、その度にスッと腰をおろしていました。彼の柔らかい物腰と話しかけやすい雰囲気づくりがとても素敵でした。さっそく高学年男子が団野SPの周りに集まっていました。途中「わからない」と呟いた児童に、団野SPは「よし、じゃあ一緒に考えてみよう！」とすばやく返していました。すると周りの児童も「う～ん、こうかな」「ここに載っていたよ」「こうじゃない？」とみんなで考えはじめました。咄嗟の切り返し、一緒に考えるよという姿勢、団野SPのセンスが光っていました。



竹内S Pは、明るくてとてもコミュニケーション力の高いS Pさんです。大学院生ということもあり頼もしい印象でした。後期は緒川小学校で実習があるそうです。その前に夏休みにボランティアとして、今回の学校施設開放に参加してくれました。それだけでも、彼女の意識の高さがうかがえます。こうした意識の高い学生さんが、東浦町にはたくさん来てくれます。とてもありがたいことです。ボランティア期間も含めて、きっとたくさんのこと学んでいってくれるのではないかと思います。

高学年の女子が固まっていると、近寄りにくい雰囲気があります。S P活動を始めたばかりだと、なかなか話しかけづらいかと思いますが、竹内S Pはなんのその。子どもたちの中に颯爽と入っていき、明るく声をかけていました。すぐに打ち解けていました。彼女にもコミュニケーション力の高さを感じました。



2人とも、全部の学年の教室を周りながら、それぞれのクラスの様子を見て動いてくれていました。初めての学校、そして初めて会う児童、勝手が分からぬることもあったと思いますが、あれだけ初日に動けるのはすごいことだと思います。団野S Pは緒川小学校で残り4日間、そして、その後他の学校でも活動してくれる予定です。竹内S Pは前半残り1日と後半3日間活動してくれます。今から、彼らの活動最終日が楽しみでたまりません。こんなに意識の高い2人が成長しないはずありません。ワクワクします。

明日以降、他の6人のS Pさんの活動もまた見に行きたいと思います。こちらも同じようにワクワクしています。みなさんの活動の様子をまた見させてください。S Pさんの意見や想いもぜひ聞かせてください。楽しみにしています。

緒川小学校には、夏休みにも関わらずたくさんの先生がたがいらっしゃいました。受付も数人の先生方で対応されていたので、2人のS Pさんは現場の先生方の声のかけ方や児童への対応を見ることができました。また、ただ学校施設を開放するといっても、受付を設置したり、名簿を作成したり、それを確認し電話を掛けたりと、やらなければならないことがたくさんあります。現場に来ないと見てこない仕事の一つです。先生方の丁寧な準備と、温かい声掛けの大切さを学ぶことのできる良い機会だったのではないかと思います。ぜひ、いろいろな視点で学校を見てみてください。座学だけでは分からない発見がたくさんあると思います。

